



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月12日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL <https://corporate.daytona.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538(84)2200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,501	4.3	349	3.4	352	6.2	261	16.0
2025年12月期第1四半期	3,356	12.7	337	38.7	331	35.0	225	30.4

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 203百万円 (△3.8%) 2025年12月期第1四半期 211百万円 (10.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	109.88	105.29
2025年12月期第1四半期	95.08	91.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	11,796	9,427	79.2
2025年12月期	11,650	9,441	80.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 9,343百万円 2025年12月期 9,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	135.00	135.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,624	3.7	810	△4.8	817	△6.1	572	△2.4	240.58
通期	15,566	8.3	1,736	7.8	1,751	5.6	1,210	5.4	508.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	3,616,000株	2025年12月期	3,604,600株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	1,187,067株	2025年12月期	1,225,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	2,382,733株	2025年12月期 1 Q	2,374,390株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善が見られる中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続や為替相場の変動に加え、海外経済の減速懸念や地政学的リスクの高まり、これらに伴う物流コストの上昇等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

二輪車業界では、本格的シーズンインを前に東京、大阪、名古屋においてモーターサイクルショーが開催され、各車両メーカーの新車展示や部品用品メーカーの多数出展もあり、来場者は前年を上回る活況となりました。

このような状況のもと、当社グループでは中期経営方針として「変革と成長」を掲げ、支持率NO.1ブランドの獲得に向けて、主に新商品開発及び既存品のリニューアル開発に注力してまいりました。

販売面では、小売事業における来店客数の減少などから環境変化に伴う消費抑制等が懸念されましたが、国内拠点卸売事業並びにアジア拠点卸売事業が好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は35億1百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は3億49百万円（前年同四半期比3.4%増）、経常利益は3億52百万円（前年同四半期比6.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億61百万円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業では、ツーリングバッグやドライブレコーダー、電子機器マウントなどのツーリング用品、及びライディングシューズやヘルメットなどが好調に推移しました。また二輪車関連事業に加え、新規事業である発電機についても売上が拡大し、売上高は前年同四半期を上回りました。

利益面においては、為替相場の円安基調による仕入れコスト増に加え、オフロードジャンル商品の販売減少の影響が前連結会計年度から継続しており、前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は22億90百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は1億5百万円（前年同四半期比23.7%減）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業におけるインドネシア子会社では、前年に見られた社会情勢の影響が収束し、個人消費の持ち直しの動きが見られる中、販売は回復基調で推移いたしました。こうした環境のもと、営業・開発における人的リソースの強化を進めるとともに、キャストホイールをはじめとした新商品の拡充に取り組んだ結果、新商品売上比率は引き続き高水準を維持し、販売は堅調に推移いたしました。

フィリピン子会社においては、大手ディストリビューターとの取引拡大により、サマール島、ネグロス島、ミンダナオ島を含む広範なエリアでの販売体制の構築が進展いたしました。これにより、フィリピン全土をカバーする販売ネットワークの整備が進んでおります。また、オンライン販売も順調に伸び、ソーシャルメディアを活用したマーケティング活動の強化とともに、ブランド認知の向上に取り組んでおります。今後の成長に向け、現地における商品企画・開発体制の整備をさらに進めてまいります。

この結果、売上高は6億76百万円（前年同四半期比28.4%増）、セグメント利益は1億95百万円（前年同四半期比33.3%増）となりました。

[小売事業]

小売事業においては、コロナ後の趣味の分散、社会・経済活動の正常化により消費活動の選択肢が増え、来店客数の減少傾向が続くとともに、物価高騰の影響による高価格帯商品の販売鈍化も続いております。一方で、車検や修理、タイヤ交換などのPITサービスへの需要は堅調に推移しており、リアル店舗ならではの専門性と即時対応力を活かしたサービスの強化に注力してまいりました。また、店舗ごとの業績管理やサービス提供の最適化を通じて、効率的な運営体制の構築を進めてまいりました。

この結果、売上高は4億90百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比20.2%減）となりました。

[その他]

その他事業の太陽光発電事業では、安定的な日照時間の確保により売電収入は堅調に推移し、売上高、利益ともに前年同四半期を上回りました。

リユース販売事業においては、商品調達の伸び悩みにより販売数量が減少し、売上高は前年同四半期を下回りました。一方で、自社販売方式の見直し等により利益率の改善が進み、収益性が向上いたしました。また、一般ユーザーからの買い取り体制の構築を進めるとともに、法人からの仕入れ強化に取り組み、商品調達の安定化および販売数量の回復に向けた施策を推進しております。

この結果、その他事業全体の売上高は73百万円（前年同四半期比8.6%減）、セグメント利益は15百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.2%増加し、93億86百万円となりました。これは、現金及び預金が4億93百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が2億6百万円増加、棚卸資産が3億85百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、24億9百万円となりました。これは、有形固定資産が31百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億45百万円増加し、117億96百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9.3%増加し、22億71百万円となりました。これは、買掛金が2億円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ26.2%減少し、96百万円となりました。これは、長期借入金が38百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加し、23億68百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.1%減少し、94億27百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日付の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました2026年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については現時点での変更はありません。

当社グループにおいて、当第1四半期は「1. (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況」に記載のとおり、国内拠点卸売事業は前年同四半期並みの売上であるものの利益は円安等の影響で減益となっており、為替ヘッジ、新商品投入、製造先見直しなどの対策を進めております。しかしながら不安定な国際情勢や政府の施策の影響は不透明であり、この状況はしばらく継続することも想定されます。

アジア拠点卸売事業におけるインドネシア子会社では、前年発生した大規模デモなどの社会情勢の影響が落ち着き、売上、利益ともに増加傾向が続いております。フィリピン子会社においても販路整備が進み、販売が順調に伸びております。このような状況からアジア拠点卸売事業は、今後も成長トレンドが継続する見通しです。

小売事業においては、来店客数が減少傾向にありますが、車検や修理などのPITサービスのニーズが高まっており、リアル店舗にしか対応できない付加価値の提供に継続して取り組んでおります。

なお、現段階において、中東情勢などの不安定な国際情勢、為替相場の変動、ユーザーの消費動向、天候など環境変化の不確実な要素も多く先行きが見通しにくい状況ですので、今後の状況変化により、業績への大きな影響が推測される場合には業績予想を修正してお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,545,743	2,052,187
受取手形及び売掛金	1,597,480	1,803,514
棚卸資産	4,397,760	4,782,985
その他	746,748	759,974
貸倒引当金	△11,771	△12,154
流動資産合計	9,275,962	9,386,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	436,500	426,034
土地	980,711	981,145
その他(純額)	301,049	342,790
有形固定資産合計	1,718,261	1,749,970
無形固定資産		
のれん	130,107	113,844
その他	99,441	104,274
無形固定資産合計	229,549	218,119
投資その他の資産		
その他	430,633	445,247
貸倒引当金	△3,496	△3,496
投資その他の資産合計	427,136	441,751
固定資産合計	2,374,947	2,409,841
資産合計	11,650,909	11,796,348
負債の部		
流動負債		
買掛金	482,523	682,864
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	171,608	164,896
未払法人税等	237,500	118,949
賞与引当金	68,647	109,822
株主優待引当金	25,581	12,185
その他	492,187	582,985
流動負債合計	2,078,048	2,271,704
固定負債		
長期借入金	80,866	42,788
退職給付に係る負債	10,277	10,943
その他	39,771	42,918
固定負債合計	130,914	96,650
負債合計	2,208,963	2,368,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,467
資本剰余金	559,029	569,127
利益剰余金	9,024,052	8,964,657
自己株式	△611,680	△592,658
株主資本合計	9,383,858	9,353,595
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△51,960	△9,670
退職給付に係る調整累計額	△1,394	△294
その他の包括利益累計額合計	△53,355	△9,964
新株予約権	73,956	44,873
非支配株主持分	37,488	39,489
純資産合計	9,441,946	9,427,993
負債純資産合計	11,650,909	11,796,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,356,781	3,501,630
売上原価	2,065,224	2,158,480
売上総利益	1,291,557	1,343,149
販売費及び一般管理費	953,690	993,652
営業利益	337,866	349,497
営業外収益		
受取手数料	1,585	2,065
試作品等売却代	546	948
その他	4,494	5,336
営業外収益合計	6,626	8,350
営業外費用		
支払利息	1,903	2,802
デリバティブ評価損	—	2,119
為替差損	10,784	332
その他	14	202
営業外費用合計	12,702	5,457
経常利益	331,790	352,390
特別利益		
固定資産売却益	4,356	26
特別利益合計	4,356	26
特別損失		
固定資産除却損	—	4,140
特別損失合計	—	4,140
税金等調整前四半期純利益	336,146	348,277
法人税、住民税及び事業税	128,615	101,944
法人税等調整額	△19,951	△17,345
法人税等合計	108,664	84,598
四半期純利益	227,482	263,678
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,702	1,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,779	261,828

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	227,482	263,678
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△15,918	△61,840
退職給付に係る調整額	△409	1,203
その他の包括利益合計	△16,327	△60,636
四半期包括利益	211,154	203,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,486	201,383
非支配株主に係る四半期包括利益	1,667	1,658

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	2,254,775	526,982	494,583	3,276,340	80,441	3,356,781	—	3,356,781
外部顧客への売上高	2,254,775	526,982	494,583	3,276,340	80,441	3,356,781	—	3,356,781
セグメント間の内部売 上高又は振替高	24,080	—	—	24,080	—	24,080	△24,080	—
計	2,278,855	526,982	494,583	3,300,420	80,441	3,380,861	△24,080	3,356,781
セグメント利益	138,880	146,858	29,372	315,111	13,941	329,053	8,813	337,866

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユース販売事業であります。

2. セグメント利益の調整額8,813千円には、セグメント間取引消去8,664千円、棚卸資産調整額23千円、固定資産調整額126千円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2026年1月1日至2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	2,261,429	676,413	490,246	3,428,089	73,540	3,501,630	—	3,501,630
外部顧客への売上高	2,261,429	676,413	490,246	3,428,089	73,540	3,501,630	—	3,501,630
セグメント間の内部売 上高又は振替高	28,916	—	—	28,916	—	28,916	△28,916	—
計	2,290,346	676,413	490,246	3,457,006	73,540	3,530,547	△28,916	3,501,630
セグメント利益	105,964	195,819	23,435	325,219	15,879	341,099	8,397	349,497

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユース販売事業であります。

2. セグメント利益の調整額8,397千円には、セグメント間取引消去8,049千円、棚卸資産調整額230千円、固定資産調整額118千円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
減価償却費	39,980千円	39,499千円
のれんの償却額	16,263千円	16,263千円